

## 電気通信主任技術者の試験免除の資格取得条件

総務省の定める資格である「電気通信主任技術者」の国家試験の一部免除を申請する場合には、情報工学科に所属して、省の定める科目を在学中に履修しておくことが必要であります。希望者は担当教員である植松友彦教授に必ず相談して下さい。

この資格の詳細は電気通信国家試験センター・電気通信主任技術者のページ (<http://www.shiken.dekyo.or.jp/chief/index.html>) を参照下さい。

以下の条件は平成 18 年の入学者から適用です。ただしカリキュラムの変更に伴い、条件が変更になることがあるので注意してください。平成 18 年以前の入学者でも昭和 62 年 3 月以降の入学者であれば、(多少条件は変わりますが) 免除の対象となります。

設定基準に規定する 授業科目及び時間		学生が履修する科目及び時間（印は必修科目）			備考（科目免除の対象となる条件）
授業科目	授業 時間数	授業科目	単位	授業 時間数	
数学	60	微分積分学第一	2	30	左の科目のうち 4 単位 60 時間以上履修する。ただし「離散構造とアルゴリズム」および「数値計算法」を対応させる場合には、「情報工学」には「離散構造とアルゴリズム」および「数値計算法」は対応させない
		微分積分学第二 A	2	30	
		微分積分学第二 B	2	30	
		線形代数学第一	2	30	
		線形代数学第二 A	2	30	
		線形代数学第二 B	2	30	
		微分積分学演習第一	1	15	
		線形代数学演習第一	1	15	
		微分積分学演習第二	1	15	
		線形代数学演習第二	1	15	
		情報基礎学	2	30	
		計算基礎論	3	45	
		数理論理学	3	45	
		離散構造とアルゴリズム	3	45	
		フーリエ変換とラプラス変換	2	30	
		数値計算法	2	30	
		数理計画法	2	30	
関数解析学	2	30			
確率と統計	2	30			
物理学	60	物理学 A	2	30	左の科目をすべて履修する
		物理学 C	2	30	
電磁気学	60	物理学 B	2	30	左の科目をすべて履修する
		電磁気学 I	3	45	
		電磁気学 II	3	45	
電気回路	60	電気回路基礎論	2	30	左の科目をすべて履修する。ただし「線形電子回路」を対応させる場合には、「電子回路」には「線形電子回路」は対応させない。
		線形回路理論	2	30	
		線形電子回路	2	30	
電子回路	60	線形電子回路	2	30	左のうち 2 単位 30 時間以上履修する。ただし「線形電子回路」を対応させる場合には、「電気回路」には「線形電子回路」は対応させない。同様に「基礎集積回路」を対応させる場合には、「デジタル回路」には「基礎集積回路」は対応させない。
		基礎集積回路	2	30	
		集積回路設計	2	30	

設定基準に規定する 授業科目及び時間		学生が履修する科目及び時間（印は必修科目）			備考（科目免除の対象となる条件）
授業科目	授業 時間数	授業科目	単位	授業 時間数	
デジタル回路	30	基礎集積回路 論理回路理論 計算機論理設計	2 3 2	30 45 30	左のうち2単位30時間以上履修する。 ただし「基礎集積回路」を対応させる 場合には、「電子回路」には「基礎集 積回路」は対応させない。
情報工学	30	計算基礎論 離散構造とアルゴリズム オートマトンと言語 プログラミング第一 プログラミング第二 プログラミング第三 プログラミング第四 人工知能基礎 コンパイラ構成 オペレーティングシステム 計算機アーキテクチャ第一 計算機アーキテクチャ第二 信号処理 情報認識 数値計算法 データベース	3 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	45 45 45 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	左のうち2単位30時間以上履修する。 ただし「離散構造とアルゴリズム」お よび「数値計算法」を対応させる場合 には、「数学」には「離散構造とアル ゴリズム」および「数値計算法」は対 応させない。
電気計測	60	電気電子計測 電気電子工学実験第1 電気電子工学実験第2 電気電子工学実験第3	2 2 2 3	30 60 60 90	左のうち2単位60時間以上履修する。
伝送線路工学	(30)	回路理論 光伝送工学 電磁波伝送工学及び電波法	3 2 2	45 30 30	ただし「光伝送工学」を対応させる場 合には、「交換工学」及び「電気通信 システム」には「光伝送工学」は対応 させない。
交換工学 電気通信システム	(30)	通信理論 代数系と符号理論 デジタル通信 情報ネットワーク設計論 計算機ネットワーク 光伝送工学	2 3 2 2 2 2	30 45 30 30 30 30	左のうち2科目以上を履修する。た だし「光伝送工学」を対応させる場合 には、「伝送線路工学」には「光伝送 工学」は対応させない。